

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

8426

し尿処理施設管理事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	3	豊かな暮らしを支える住環境の整備
施策	4	生活排水対策の推進
取組方針	5	し尿及び浄化槽汚泥の適正処理

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		清掃費	
	目		屎尿処理場費	
	大事業		屎尿処理事業	
中事業		し尿処理施設管理事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し ~ 無し	担当課・担当課長・Tel	青岸清掃センター	中村 成志	428-4153
事業実施の根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	関連課			

1 事業内容

	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)	全体事業概要				
事業目的	汚泥再生処理センターを適切に管理運営し、収集されたし尿及び浄化槽汚泥を処理する。	市内全域から収集されたし尿及び浄化槽汚泥の全量を汚泥再生処理センターで適正に処理し、住民の生活環境の保全を図る。				
事業内容		平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
		収集されたし尿及び浄化槽汚泥を処理するためにかかる汚泥再生処理センター管理運営に要する経費。	収集されたし尿及び浄化槽汚泥を処理するためにかかる汚泥再生処理センター管理運営に要する経費。	収集されたし尿及び浄化槽汚泥を処理するためにかかる汚泥再生処理センター管理運営に要する経費。	収集されたし尿及び浄化槽汚泥を処理するためにかかる汚泥再生処理センター管理運営に要する経費。	収集されたし尿及び浄化槽汚泥を処理するためにかかる汚泥再生処理センター管理運営に要する経費。

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	166,339	145,113	162,149	148,806	165,301	147,308	159,214	0	159,214	0
伸び率(%)	△4.9%	7.7%	△2.5%	2.5%	1.9%	△1%	△3.7%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	41,719	43,477	28,914	28,028	27,708	27,151	27,151	0	27,151
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	41,719	43,477	28,914	28,028	27,708	27,151	27,151	0	27,151
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	1,000	0	0	0
その他	0	0	0	27	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	166,339	145,113	162,149	148,779	165,301	147,308	158,214	0	159,214	0
所要人数(人)	正規職員	5.22	5.44	3.59	3.48	3.48	3.41	3.41	0.00	3.41
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	消耗品費70,269千円、光熱水費23,583千円、管理委託料64,655千円 等									

3 目標及び実績

	指標名	単位	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
活動指標	和歌山市全域から投入されるし尿及び浄化槽汚泥の全量を適正に処理する	目標値					
		実績値	168192	167288	168433		
		達成度(%)	%	%	%	%	%
		目標値					
成果指標	施設稼働率(施設稼働日数/年間日数) * 100	目標値	100	100	100	100	100
		実績値	100	100	100		
		達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
		目標値	100	100	100	100	100
	水質基準達成率(基準達成回数/実施回数) * 100	目標値	100	100	100		
		実績値	100	100	100		
		達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
		目標値					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる		あまりできない	○ できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持		○		
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	一般廃棄物の適正処理は地方自治体の自治事務であるため、計画どおり進める必要がある。
見直し・改善内容	今後も搬入されるし尿及び浄化槽汚泥の性状や量に対応しつつ、施設の維持管理に適切な措置を講ずるとともに、効率的な運営に努める。